

**製品名: CCNB1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80903**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNB1
別名	CCNB; CCNB1
遺伝子 ID	891.0
SwissProt ID	P14635
免疫原	大腸菌で発現したヒト CCNB1 の精製された組み換え断片。

**背景**

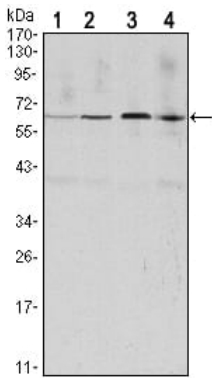
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、有糸分裂に関与する調節タンパク質です。遺伝子産物は p34(cdc2)と複合体を形成し、成熟促進因子 (MPF) を形成します。恒常的に発現する転写産物と、主に G2/M 期に発現する細胞周期制御転写産物という 2つ

の代替転写産物が発見されています。これらの異なる転写産物は、異なる転写開始部位を利用することで生じます。（RefSeq 提供）  
腫瘍組織において高い発現を示します。

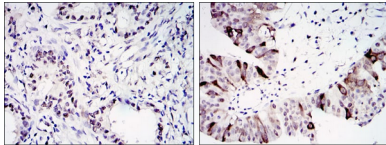
## 研究分野

-

## 画像データ



Hela (1)、Jurkat (2)、K562 (3)、PC-12 (4) 細胞溶解物に対する CCNB1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CCNB1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺癌 (左) および卵巣腫瘍組織 (右) の免疫組織化学分析。